

**【4】他市の市長が協議拒否をしている中、東大和市は3市共同資源物処理施設建設設計書の撤回に向けて、どのように円満解決すべきなのか。**

- ・長瀬市議・・・組合理事者合意で進めてきた事について、考えが変わったことを東大和市長が他の2市に出向き、丁寧に説明し理解を得る。
- ・二宮市議・・・他市の市長が協議拒否に関しては、当市の市長が手順を踏まずに、一方的に2市の市長に対し招集通知を提出した結果でありますので、今後の事業の方向性について当市長の考えを他市に提示したうえで、事務レベルによる調整を経て、3市の市長による協議が実現されるもので有と考えます。
- ・大后市議・・・トップ同士の話し合いが無理なら、まずは事務レベルで協議をすべき。尾又市長はトップ同士のそれに固執しすぎている。
- ・尾崎(信)市議・・・話し合うこと。
- ・中間市議・・・市長の間の感情論、意地の張り合いになっており、市民も議会も迷惑している。理事者としての責任感を持って、時間をかけて冷静な話し合いを続けるしかない。
- ・尾又市長・・・当市の状況を理解していただくため、引き続き対話を求めてまいります。
- ・御殿谷市議・・・協議。尾崎(利)市議/西川市議・・・【3】とおなじ
- ・中野氏・・・そもそも尾又市長が東大和市内に作る小平市・武蔵村山市に約束して動き出した話であったはず。ですから自分自身判断ミスなど一連の不幸を市長自身が頭を下げ、きちんと謝罪するのが一番最初にやるべきことです。但し尾又市長の市政運営から見て絶対に謝罪しないと思います。悪いのは他の市長だと責任転嫁して市民にとっては最悪の事態です。(東大和のごみ受取り拒否)までいくのではないのでしょうか。
- ・小林前市議・・・他市にとっては東大和が一方的に方向性を変えたとか見えなくて考えています。近隣住民への市の説明が不十分であったのと同様、小平市・武蔵村山市・組合に対する東大和の説明も不十分でした。その点は素直に謝罪し、そのうえで東大和の事情を、各市民・市議会・市長に理解して頂く努力をし、今後の在り方の議論を真摯に出来る限り早急に行う必要があります。
- ・押本市議・・・東大和市長自らが他の2市へ出向き、頭を下げることから始める必要があると思う。謝罪して済む問題とは思えないが、それぞれの市の事情もあるので、説明を尽くしていくのみだと思ふ。
- ・尾崎(保)氏・・・先ず、不信感を除去して信頼関係を築くことが第一と考えます。その上立って、資源物処理に係る最新技術やごみ減量方策などを研究し、将来の道を開きたいと思ふ。

**【特別質問】市長にお伺い致します。3市共同資源物処理施設建設が東大和として受け入れ不可能となったことを小平市、武蔵村山市に伝える為の協議が進展していないようです。今後、協議を進めて行く為のお考えをお聞かせください。**

- A. 今後も小平市から提案の有った事前調整は必要とせず、3市の市長で協議を進める。 / B. 最終的な3市の市長による協議を行う為、小平市からの提案を受け入れる。 / **◎ その他**
- ・尾又市長・・・<回答>平成22年の小平・村山・大和衛生組合議会11月定例会において「3市共同資源物処理施設建設にかかわる3市の実質的な協議のすみやかな開始を求める決議」が可決されております。当市ではそれらも尊重した上で3市間での協議を平成22年12月27日に開催致しましたが、小平市長、武蔵村山市長ともに欠席でありました。そのため、早期に理事者会の開催を求めていきたいと考えております。

**【5】今後、小平・村山・大和衛生組合との関係をどのように円滑に保っていくのか具体的な施策をお聞かせください。**

- ・長瀬市議・・・東大和市長の他の2市長への真摯な働きかけが、組合との関係にも影響する。
- ・二宮市議・・・3市共同資源物処理施設は平成17年の理事者会で確認された事項を前提として進められている事業であります。施設建設想定地周辺の環境が様変わりし、現状では建設困難である事は誰もが理解しており、今後の事業の方向性について(4)でも述べましたように、当市長の考え方を2市に提示し検討して頂くよう進めないと関係修復は困難で有と考えます。
- ・大后市議・・・相手の話をしっかり聞くこと。今は一方的に話しているだけ。
- ・中間市議・・・衛生組合におけるごみ処理事業は、3市にとって共通の利益があり、今後とも継続すべきである。ただ、今回のリサイクル施設建設については、誰が考えても建設不可能な内容であり、その事を確認するしかない。
- ・尾又市長・・・小平・村山・大和衛生組合は3市の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを中間処理する事を目的として設置された一部事務組合です。その目的を実施する上では円滑な関係が保たれております。
- ・御殿谷市議・・・各市長同士の話し合い
- ・中野氏・・・すでに小平・武蔵村山の両市町とも尾又市長への信頼関係はないと思ふ。衛生組合の円滑な関係を保つことを考えれば、東大和市長が交代するしかありません。
- ・小林前市議・・・市の廃棄物行政の方向性を定めること、組合とのしっかりとした協議と情報提供を行うこと、組合の負う日常的な周知説明・住民の不安を未然に防ぐ努力・廃棄物行政の難しさをご理解頂く努力等を当事者の一端として分担し貢献すること、などが関係円滑化に必要となります。まずは、市長直轄のプロジェクトチームなどで責任ある議論をするべきと考えます。衛生組合及び小平市は、焼却施設近隣住民の交通量の増加などの環境悪化への不断の配慮や事業の説明責任を果たしてこられました。煙突を含む飛散物質は限りなく無害化されました。東大和も、今後より一層、当事者としての責務を自覚しソフト面を含めた努力をする必要があります。
- ・尾崎(利)市議/西川市議・・・3市共同のごみ処理からの撤退を意図したものでないことを理解してもらうこと。その為にも東大和の判断について他の2市の共通の理解を得ること。
- ・吉野市議・・・3市のゴミ処理からの撤退を意図した事でない事を理解して貰う事で市の考えを知って貰う事です
- ・押本市議・・・東大和のごみ処理(廃プラ処理も含む)についての考えを明確に示して行くことがまず、求められると思う。
- ・尾崎(保)氏・・・経過を分析し、誠実な話し合いを重ねることから始めます。

**【6】東大和市では容器包装プラスチックごみの処理(ペットボトルを除く)を民間委託しています。今後も民間委託を継続することについてどのようにお考えですか。**

**プラごみの民間委託について**

意見	数
民間委託に賛成	10
民間委託に反対	1
その他	3

■ 民間委託に賛成 10  
■ 民間委託に反対 1  
■ その他 3

長瀬 尾崎(利) 西川 3  
吉野 1  
二宮・大后・尾崎(信) 中間・尾又・御殿谷・中野 小林・押本・尾崎(保) 10

※<その他>と回答の方及び書く添えたいことがある方はご記入ください。

- ・長瀬市議・・・必要経費を考えると頭の痛い問題。23区は燃やしており、組合構成市でも、小平市は燃やすごみになっている。国の制度、産業界の考え、自治体住民で考え続けるべき問題だと思ふ。民間委託とはいえず決して安くはないし、民間の工場(処理)は何ら公害対策を取っていない事も問題。
- ・尾崎(利)市議/西川市議・・・委託している民間施設を視察したところ、オープン施設で健康、環境被害への対策がきわめて不十分であり、市の公的責任を果たす事が必要。
- ・小林前市議・・・持続性、コスト、環境負荷も考慮すると、将来は焼却処理に戻すことも一考の余地はあるのではないかと考えています。
- ・吉野市議・・・今、市が委託している民間業者を見て来ました。そこはオープンな所(施設)で健康や環境への対策は十分な所では有りません。そのため反対です。
- ・尾崎(保)氏・・・ペットボトルを含め、生産者責任についてももう一度考える必要があると思ふ。一番お金が掛かる部分を税金で行うことに疑問を感じています。

**【7】東大和市では容器包装プラスチックごみを除く、缶・ビン・ペットボトル等を現・東大和暫定リサイクル施設で行っていますが、その施設は作業による騒音の問題をかかえています。今後、どのような運用が市民や環境にとって有効と思ふますか。お考えをお聞かせください。**

【A】近隣住民からの苦情は考慮せず 現業のまま、運用をおこなう 回答者無し	【B】近隣住民からの苦情を考慮し、対策を実施して運用を行う 長瀬・二宮・尾崎(信)・中間・御殿谷・中野・小林・尾崎(利)・西川・押本・吉野・尾崎(保)	【C】他の地域に リサイクル場を移す 大后	【D】その他 尾又
---	--	-----------------------------	--------------

- ※書き添えたいことがある方はご記入ください。
- ・尾又市長・・・室内における作業を基本とし、周囲への配慮に努めた施設運営を継続いたします。
  - ・中野氏・・・すぐに施設を撤去して他の場所に移すことも困難であるので、騒音等の対策をきちんとした市単独の施設としてプランを建てることだと思ふ。運営も見直した方が良いと思ふ。

**【8】将来、人口の減少化も進み、ごみの排出量も減って行くと推測されます。計画されています構成3市による資源物処理施設は多額な建設費用に加え高額な維持管理費も税金で賄う事になります。将来の財政圧迫要因となる可能性のある資源物処理施設(箱物)が必要とお考えですか。**

【A・必要】尾崎(信)・小林・尾崎(保)	【B・不要】長瀬・二宮・大后・中間・御殿谷・中野・小林	<その他> 尾又・尾崎(利)・西川・吉野
----------------------	-----------------------------	----------------------

- ※書き添えたいいただきました。
- ・尾又市長・・・物を中間処理する施設は今後も必要であると思ふますが、いわゆる箱物の建設につきましては、将来の財政負担などを考慮した中で慎重に行うべきものであると思ふます。
  - ・尾崎(利)/西川市議・・・減量しても廃棄物はなくなりません。最小限の処理施設は必要です。しかしその場合でも徹底したごみ排出量削減と住民合意を前提とし、財政を考慮すべきです。民間委託は現状では健康、環境被害への対策がいつそう弱まると考えられます。又、リサイクルについてもマテリアルサイクルの流れ、サーマルリサイクルの流れなど徹底的な方策が確立しているとは言えません。
  - ・吉野市議・・・ごみを減量してもごみはなくなりません。一定の処理施設は必要ですが、その時にも徹底した削減をする事です。又、民間で処理する事は問題が有ります。
  - ・尾崎(保)氏・・・将来の財政負担としているが、今も厳しい財政の中から13億からのお金を使っています。ムダと考えます。将来的には焼却施設も含め、ない方が良く考えます。

**【9】今後の東大和市のゴミ処理全般について施策がございましたらご回答ください。複数回答可**

【A】ごみ減量化のため、ゴミ袋の有料化を導入 長瀬・二宮・大后・中野・小林・押本	【B】上物は作らずアウトソーシングを活用 大后・尾崎(信)・中間・御殿谷・小林・押本	【C】その他 二宮・大后・尾又・小林・尾崎(利)・西川・吉野・尾崎(保)
---	---	---

- ※書き添えたいことがある方はご記入ください。
- ・長瀬市議・・・他の2市と比べ東大和は資源化に取り組む姿勢も見せていないものが多い(特に生ごみや剪定枝)特に生ごみは他2市は既にモデル事業を立ち上げ取り組んでいる。可燃ごみに占める生ごみの割合は40%以上であり、生ごみを減らせば燃やすごみは減る。
  - ・二宮市議・・・環境教育の更なる推進、商工会との連携によるエコバック、容器持参運動の推進や再利用できるビン容器のデポジット制度の推進(国や都に働きかける)等
  - ・大后市議・・・個別収集。尾又市長・・・ごみ減量やリサイクルの一定目標などを定めた「ごみゼロプラン」に基づく減量施策を展開します。
  - ・中野氏・・・ごみ袋の有料化はごみ削減にとって一時的な効果しかないことは前提としてもやるべきことだと思ふ。私の家はごみ集積場の斜め前にありますが、道路沿いでもあり不法投棄が絶えません。昔はカラス対策のごみネット補助金もありましたが、それもなくなり自治会もない地域なので自費でごみネットを買い掃除を続けています。この間、近隣の外国人の不法投棄にはその国の言葉のチラシを作ったり不法投棄されたごみ袋の中身をチェックして他市の市民を特定して関係機関に通報したこともあります。勿論、市のごみ対策担当の職員にもお願いして努力して貰っていますが担当職員も手が回らないほどの現状を考えるとどうしても市全体で取り組む課題であるし、回収処理の為に多額の税金がかかっていることを市民に理解してもらう為にも有料化は早急に行うべきと考えます。
  - ・小林前市議・・・質問がやや粗いのでお答えしづらいのですが、【8】も合わせ、「単純化はできない」と御理解下さい。現状のリサイクル施設計画は過大だと考えています。しかし、私自身は東大和での人口減少は避けたいと考えており、その前提では、よほどライフスタイルが変わらない限り、ゴミ減量の多くは「可燃物の資源化」に負うこととなります。従って全ての資源物処理施設が不要ということではありません。民間がやらない、または撤退してしまうこともあります。そして施設が必要になった場合、3市共同の方がコストが割安になることも多い。とにかかにも『思考を停止させることなく、時代状況を常に鑑み、バランスのとれた施策決定を行う』ことが必要と考えます。ゴミの有料化は今すぐかはわかりませんが、時代の趨勢としてやむを得ないと思ふています。
  - ・尾崎(利)市議/西川市議/吉野市議・・・ごみ有料化による減量は一時的なもので有効でないと思ふます。アウトソーシングは現状では健康、環境被害への懸念をいつそう拡大するものです。発生抑制が決定的です。拡大生産者責任を明確にするなど産業界の責任を明確にし、国と自治体あげてごみの減量にとりくまなくてはなりません。(吉野市議回答は前文に「ごみ減量は市民と共に進むべき」と記載有り)
  - ・尾崎(保)氏・・・A、Bも含め総合的な対策が必要と考えます。

**廃プラ施設から健康と環境を守る会**

連絡先: 〒207-8790 日本郵便 武蔵村山支店 私書箱26号 / E-mail: haipurahantai@yahoo.co.jp  
 本会は2008年4月に結成されて以降、この構想が抱える課題と行政の対応を大きな問題と捉え、市長への要望書、東大和市議会および衛生組合への陳情書提出、住民への説明や市議との懇談等の活動をしてきました。この施設に対する詳細な説明も無いまま、反対意見を無視し計画を進められることに疑問を感じる方、行政が説明しない詳しい情報を得たいと思われる方は、お気軽にご連絡ください。(※このチラシは、皆さまの善意の寄付により作成させていただきました。)